



アーキテクチャ図

フライト情報管理システム (FIMS)



フライト情報管理システム (FIMS): アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

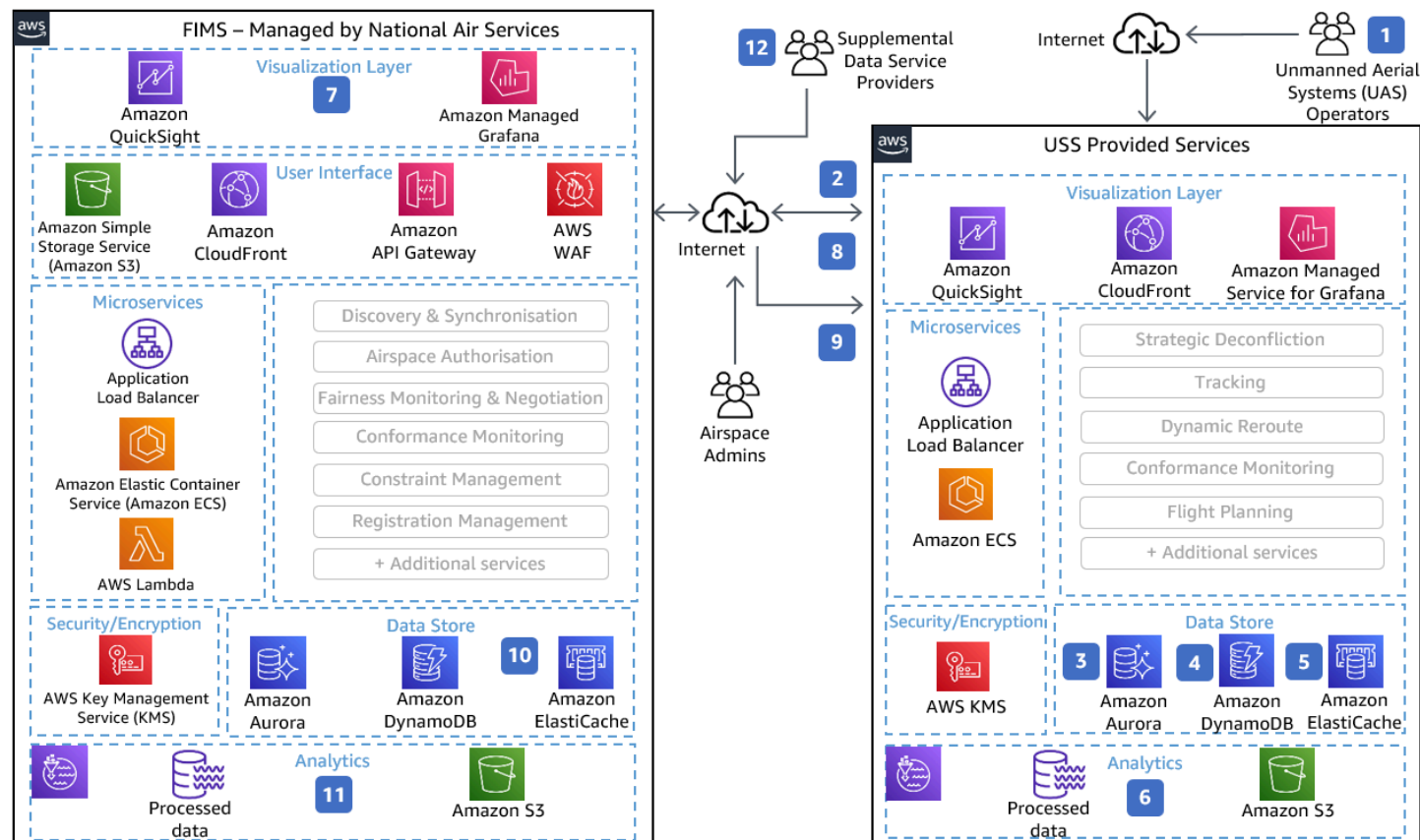
フライト情報管理システム (FIMS)	i
フライト情報管理システム (FIMS) の図	1
詳細情報	2
図の履歴	2
.....	iv

フライト情報管理システム (FIMS)

公開日: 2022 年 2 月 2 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャにより、無人航空システムに必要なサービスを管理および運用できます AWS。

フライト情報管理システム (FIMS) の図



- オペレーターは、フライト計画やその他のサービスのためにウェブベースのポータルから FIMS サービスにアクセスします。
- フライトプランは適切なマイクロサービスに送信され、Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) は承認の処理に活用されます。
- 登録や飛行計画などの永続的なリレーショナルデータは Amazon Aurora に保存されます。
- リアルタイムデータ (テレメトリ、位置、トラック、速度など) は DynamoDB に保存されます。
- キャッシュされたデータは Amazon Amazon ElastiCache を介して保存され、すばやく取得できます。

6. 処理されたデータは、規制コンプライアンスに従って暗号化され、データレイクに保存されAWS Lake Formation、 によって管理されます。
7. Quick と Amazon Managed Grafana を使用して、リアルタイムの測位、飛行経路、潜在的な競合などを表示するための仮想化ツールをデプロイできます。
8. FIMS によって UAS オペレーターに自動的に提供されるフライトプランの承認。
9. UAS オペレーターは、競合が発生した場合に飛行計画の手動承認を FIMS 管理者にリクエスト/受け取ります。
- 10Amazon Aurora に保存されている UAS プロバイダーデータと DynamoDB データベースに保存されているリアルタイムデータ。
- 11Amazon S3 上に構築されたデータレイクは、安全なデータアーカイブ、分析、視覚化に使用されます。
- 12気象サービスからの補足データは、賢明な意思決定のために FIMS に取り込まれます。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 2 月 2 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。